

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-026312

(43)Date of publication of application : 30.01.1996

(51)Int.Cl.

B65D 43/06
B65D 43/00

(21)Application number : 06-185348

(71)Applicant : KIKUSUI KAGAKU KOGYO KK
TORASUTO:KK

(22)Date of filing : 13.07.1994

(72)Inventor : KANI TOSHITAKE

(54) LID OF OPENED CAN

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a lid used for reserving drink remaining in an opened can in a sanitary and safe manner.

CONSTITUTION: In a lid mounted on an open part of a can to cover an opening, a ring leg part that can be fitted to seamed parts of cans of a plurality of apertures, a projected channel 3 a part of which is missed is provided on the can-contact end of the leg part, and a tongue piece 4 is provided on the outer periphery of the ring leg part 2 so that the outer shape of the lid has a waterdrop form as a whole. In this manner, the lid can be of course used as a lid for cans of different apertures with drink remaining therein, and the lid is never blown off if an internal pressure is increased in the state that the can is covered with the lid. In addition, the tongue piece 4 can be also used for erecting a tab.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.03.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 07.04.1998

[Kind of final disposal of application other than

the examiner's decision of [redacted] or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-26312

(43) 公開日 平成8年(1996)1月30日

(51) Int.Cl.⁴

B 6 5 D 43/06
43/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-185348

(22) 出願日 平成6年(1994)7月13日

(71) 出願人 000159032

菊水化学工業株式会社

愛知県名古屋市中村区名駅3丁目14番16号

東洋ビル

(71) 出願人 593095988

有限会社トラスト

名古屋市昭和区紅梅町3丁目2番1号

(72) 発明者 可児 俊丈

愛知県知多市八幡新町1丁目14番地の1

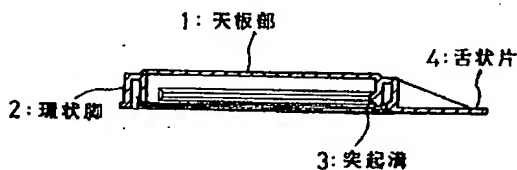
(54) 【発明の名称】 開封缶の蓋

(57) 【要約】

【目的】 一旦開封された缶入り飲料の飲み残しを衛生的かつ安全に保存するために用いられる蓋を提供する。

【構成】 缶の開口部に装着して開口を覆う蓋において複数程の口径の缶の巻締部にそれぞれ嵌合できる環状の脚部を有し、脚部の缶接触側端部には突起溝を一部欠落部が生じるように設け、環状脚の外周には蓋全体の外形が水滴形となる舌状片を設ける。

【効果】 異口径の缶飲料の飲み残しの蓋として利用される事は勿論の他、蓋を被せた状態において内側の圧力が高くなった時に蓋が吹き飛ぶこともない。また、舌状片はタブを起すのにも利用が可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 缶の開口部に装着して開口を覆うようにした蓋が、天板部と口径の異なる複数の種類の缶の巻締部にそれぞれ嵌合できる環状脚を有するものであり、環状脚の天板と反対側端部の缶接触側に突起溝を一部欠落部が生じるように設け、環状脚外周部に蓋全体の外形が水滴の形となる舌状片を設けたことを特徴とする開封缶の蓋。

【請求項2】 突起溝の欠落部が一個所であり欠落長さが10～25mmであることを特徴とする請求項1記載の開封缶の蓋。

【請求項3】 突起溝の欠落部が平坦でなく、突起溝の突起より小さな小突起溝としたことを特徴とする請求項1記載の開封缶の蓋。

【請求項4】 環状脚の長さが缶径の違により異なり、突起溝の頂部が天板部より異なった位置に設けたことを特徴とする請求項1記載の開封缶の蓋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、一旦開封された缶入りの飲料の飲み残しを衛生的かつ安全に保存するために用いられる蓋に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、開封された缶入り飲料の蓋に関する考案として、実開平5-46755に開示されるものがあった。この考案では、径の異なる缶に利用できるように複数の環状脚を設け、周枠部と合わせて缶の巻締部を嵌め込むようにしたものであった。また、この考案では蓋の外周部に突片を設け、フックに掛けるのに利用されるようになっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする問題点】従来における缶の蓋では、蓋を外れ難くする為に巻締部を内外より蓋素材の弾性を利用して押さえつけるものであった。しかしながら、飲料のうち特に炭酸ガスを発生するものにあっては、転倒時あるいは加熱時に多量のガス発生となり、缶の蓋を吹き飛ばしてしまうことすらあった。この発明では、このような場合も蓋が吹き飛ばすことのない缶の蓋を提供することを目的としている。

【0004】

【問題を解決するための手段】この発明の缶の蓋は、蓋内のガス圧が大きくなった時に空気、水蒸気、炭酸ガス等のガスを除々に逸散させるようにしている。缶の蓋の構成では、天板部1、環状脚2、舌状片4から成るようにしている。また、缶の巻締部6を締めつける環状脚の天板と反対側端部の缶接触側に突起溝3を一部欠落部が生じるように設け、蓋の固定力を高め、かつガス圧が高くなった時の部分周よりのガス逸散を助けるようにしている。更に、環状脚外周には舌状片4を設け、転倒時のところがり防止あるいはタブを起すのに利用できるように

している。

【0005】この発明の蓋に利用される素材としては、エラストマーと呼ばれる常温付近でゴム状弾性を有する合成ゴム、合成樹脂が利用される。その例として、ポリエチレン、ポリプロピレン、塩化ビニル、ポリイソブレンなどの合成樹脂がある。

【0006】環状脚の缶接触側に設ける突起溝は、缶の巻締部に掛かることになり、缶の蓋が缶本体から離脱するのを防ぐことになる。また、突起溝の欠落部は缶の蓋の内側の圧力が高くなった時にこの部分より空気、水蒸気、炭酸ガス等を逃がしてやることのできる。突起溝の欠落部は一個所あるいは複数設けられる。この蓋を平面的にみた時、複数の欠落部が等間隔に存在すると、蓋の内側の圧力が均一に蓋に加わることになり偏在させた方が、蓋内に急激な圧力発生が生じた時にも蓋が吹き飛ばすことが無い。

【0007】突起溝の欠落部を一個所にする場合は、舌状片と反対側に設けるのが良い。この位置にあると缶が転倒したとき、舌状片を下にこがりが止まることになるが、その時欠落部はほぼ上方に位置することになり欠落部が飲料により塞がれることなく、ガスの逸散が容易に行われる。また、この時の欠落部の長さは10～25mmとするのが良い。10mmより小さいとガスの逸散を助けることにならず欠落部の無い時と変化がなく密閉する蓋となってしまふ。逆に25mmより欠落部が大きいとガスの逸散は容易になるものの、蓋の缶への固定力が小さくなり蓋が外れ易くなってしまふ。

【0008】突起溝の欠落部を複数個所設けた場合には、ガスの逸散は容易となるものの、缶内の飲料が漏れ出る危険性が生じる。そこで、この場合は突起溝の欠落部に小突起溝を設けるのが良い。この小突起溝は、突起溝に比べ突起の大きさが小さなものであり、突起の大きさで言えば小突起は普通の突起の半分の大きさから5分の1の大きさ、山の高さでは0.2mmから0.5mmの大きさにより設けられる。この小突起溝の存在により、蓋の缶への固定力を高めると共に飲料が缶から漏れ出るのを防ぐことができる。この小突起溝の付加は、欠落部を一個所の場合も利用可能である。

【0009】以下、図面と併せてこの発明の開封缶の蓋について説明する。図1は、本発明の実施例を示す底面図である。図2は図1の実施例に於けるA-A線断面図である。図3は発明の製品を実際に小口径の缶5に利用した時の要部断面図である。図4は実施例の外観斜視図である。

【0010】実施例における蓋では、天板部1を二段にして環状脚2の長さおよび突起溝3の位置を違えるようにしている。また、環状脚の缶接触側の下端には突起溝を設け、但しそのうち長さ20mm程を突起溝を設けないようにしている。環状脚の外周には舌状片4を設け補強の為にリブ7を付けて、タブを開ける時に折れ曲がる

のを防いでいる。

【0011】この実施例において内外二つの環状脚に設けた突起溝の位置を上下に違えることで、環状脚の内側に缶の巻締部を嵌め込む時に環状脚が撓むことになるが、缶の嵌め込みの障害となることはない。

【0012】蓋の素材は、ポリエチレン製とし、厚みは薄肉となった部分でも1.0mmはあるようにした。外形の寸法として、外側の環状脚の外径を62mm。内側の環状脚の内径を52mm（但し、突起溝を除く）とし、蓋の厚みは9mmにした。環状脚の缶接触側の突起溝は高さ1.1mm、頂部平坦巾0.7mmの略台形断面としている。

【0013】実施例2では、突起溝の欠落部を複数個所設けた開封缶の蓋を作成した。図5では、この蓋の縦断面図を示し、図5の縦断面図中のB-B線横断面を図6により示し、環状脚の外側の突起溝を輪切りにする断面図によって突起溝の欠落部の位置が分かるように示している。図7では、突起溝の欠落部に設けた小突起溝8を示すための小突起溝部分の部分拡大斜視図である。

【0014】実施例2では、突起溝の欠落部を4個所設けるようにした例である。そして、概略の寸法として上底1mm下底3mm高さ1mmの台形の突起溝を環状脚部の缶接触側に約2cmづつ等間隔に4個所設けた。突起溝の欠落部には図7の外観を示す。断面が台形を示す。上底1mm下底1.5mm高さ0.3mmの小突起溝を設けるようにした。蓋の素材は、ポリエチレン製とした。

【0015】図8では、小突起溝の他の形状例を示す拡大外観斜視図を示している。この小突起溝では外観断面を円の一部を切り取った形としている。

【0016】

【発明の効果】この発明の缶の蓋は、一旦開缶した飲料*

*に対してこぼれない状態で蓋をし、衛生的に保存することができ。勿論、環状脚を複数設けてあることにより異口径の缶に対して利用することが可能である。また、蓋を外れ難くする為に突起溝を設けてあるが、突起溝の省略部分においては、炭酸の入った飲料から発生するガスあるいは、高温下に置かれた時の水蒸気圧等を逸散することが可能となり、仮え缶が転倒した時でも缶から飲料が漏れ出ることがない。

【0017】更に天板部には各種の印刷を施して、実用的効果以外に宣伝媒体としても利用することも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例を示す底面図である。

【図2】 図1の実施例のA-A線断面図である。

【図3】 実施例を小口径の缶に利用したときの要部断面図である。

【図4】 実施例の外観斜視図を示している。

【図5】 実施例2の縦断面図を示している。

【図6】 図5のB-B線横断面図である。

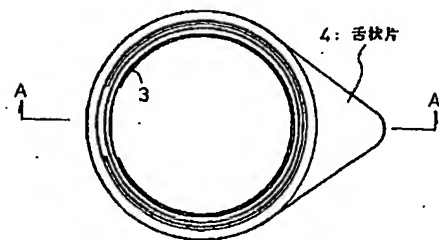
【図7】 実施例2における、突起溝欠落部に設けた小突起溝を示す部分拡大斜視図である。

【図8】 他の小突起溝の例を示す部分斜視図である。

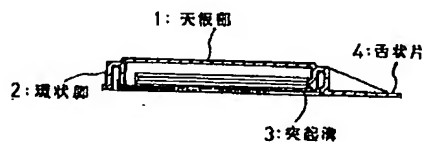
【符号の説明】

- 1 天板部
- 2 環状脚
- 3 突起溝
- 4 舌状片
- 5 缶
- 6 巻締部
- 7 リブ
- 8 小突起溝

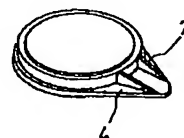
【図1】



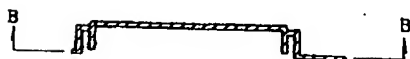
【図2】



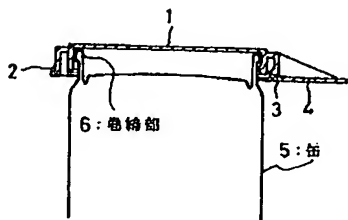
【図4】



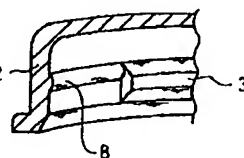
【図5】



【図3】



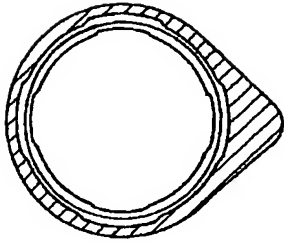
【図8】



(4)

特開平8-26312

【図6】



【図7】

